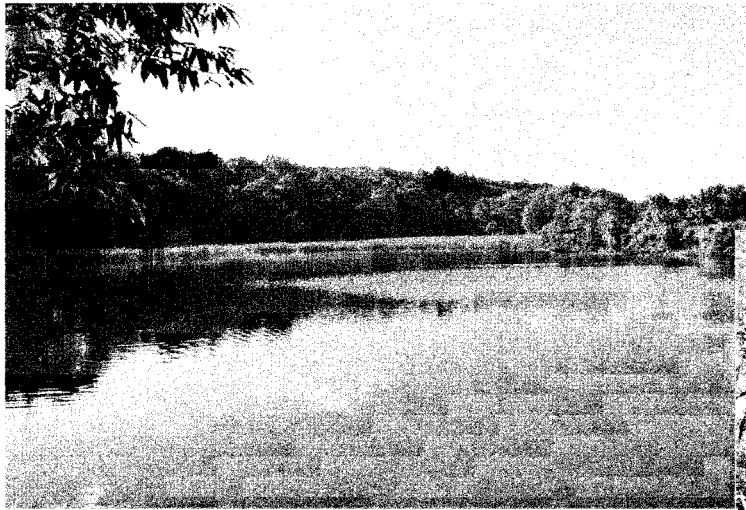


鶴田沼



鶴田沼周辺グリーントラスト契約地

今ある自然を大切に

都市周辺の緑地は、次々と押し寄せる都市化の波に飲み込まれようとしています。

宇都宮市内に残された緑は今、どうなっているのでしょうか。貴重な動植物が確認されたという鶴田沼、また自然林を損なわないように建てられた宇都宮美術館を訪ねてみました。

この沼は、元は農業用のため池でした。周りは雑木林や栗林に囲まれ、沼沿いに細い土手道があります。そこからは家並みは全く見えなくて、すぐそばを環状線が走っているのが嘘のようです。ヨシが群生している沼地や湿地帯、それに周りの雑木林には、オオムラサキ、ハッチョウトンボ、サギソウなどの貴重な動植物が生息しています。

しかし、その数は次第に少なくなり、なかなか目にする事ができません。今日は運良く、けたたましく鳴くオオ

宇都宮環状線を鹿沼インター通りとの交差点から北に向かい、左手のやや細い道を斜めに数十メートル入ると、そこは「あっ」と思わず叫びたくなるような別天地、鶴田沼で

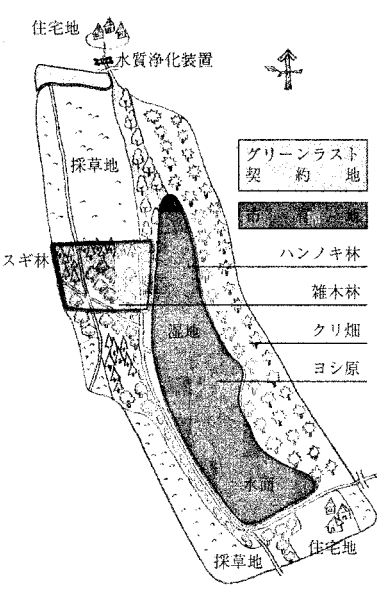
す。水面は広々と静かで美しく、周囲の緑を色濃く写しています。この辺りはグリーントラスト運動によって保全されている所です。自然林とはいっても、ある程度の手入れをしないと、樹林は健全に育たないとのこと。久しぶりに踏む土の感触は足に優しく、足取りも自然に軽くなりました。

林を抜けると、そこは青々とした牧草地、そして、その先の高台には、もう住宅がびっしりと建っています。緑の夢もここまででした。

ヨシキリの姿を目にすることができました。水辺には、紫の色濃いカキツバタもちらほら見えました。

涼しい雑木林
雑木林に入ると風がさわやかで心地よく、群生するエゴノキの白い花が足元一面に散り敷いていました。ハンノキも数多く見られます。林の中の下草はきれいに刈り取られていました。

●鶴田沼周辺図●



現在、(財)グリーントラストうつのみやでは長岡樹林地や鶴田沼周辺樹林地などの保全契約をしています。詳しくは同事務局 ☎(632) 2559へ。

グリーントラスト運動とは

グリーントラスト運動という言葉を皆さんご存じですか。緑を大切に考える市民一人ひとりが、お金や知恵、労力を出し合い緑の環境を守り、つくり、育てる運動です。会費や寄付で集まった資金で市街地やその周辺の緑地を買い取ったり、保全のための契約をして緑を守ります。

- 編集員
- 大津 可男 糸川 薫
 - 黒尾千枝子 志賀 満江
 - 清水 幸子 白井 郁江
 - 南木 厚子 深谷百合子